

レポート：JICA シニアボランティアの活動報告

シニアボランティア：河田 隆

活動期間：2010年7月～2012年6月

配属先：グアテマラ市剣道連盟

剣道の普及

今や剣道は世界中の多くの国々で様々な人達が取り組んでいるスポーツです。

私の任地グアテマラでは剣道を警察学校の正課として取り入れていました。礼節といざという時物事に動じない精神を養うのに剣道は最適という評価を得ているようでした。

そこからは年に 60~80 人の新人警察官が剣道経験者として巣立っていきます。そして、その中から幾人かが剣道を続けたいからと剣道連盟に籍を置くことを希望するようになっていきます。

活動開始当初、警察学校での剣道授業は、まだとても「剣道」と呼べるほどのものではありませんでした。用具は人数分の竹刀と数本の木刀だけ。さらに現地では「タタミ」と呼んでいるスポンジマットを屋外に敷いての即席道場。こんな環境の中でも一生懸命に竹刀を振り、卒業時にはやや安定しながらの正座やきちんとした礼も身につけて行きます。

また、剣道連盟の稽古には週 3 回剣道好きの人達が目を輝かせてやって来ます。会員は警察官や会社の重役達 10 人くらいが常連で、中には私の任期中ほとんど休まなかった剣士もいて、私の出席率よりも高い人もいるくらい。その熱心さには頭が下がる思いでした。

おかげで、任期中にほとんどの人が昇段することが出来、グアテマラというこの国の人達の期待に応えることが出来たと思っています。



剣道形の稽古も真剣に



正座の指導も剣道